

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 27 年 5 月 14 日 (2015.5.14)

【公表番号】特表 2014-509821 (P2014-509821A)  
 【公表日】平成 26 年 4 月 21 日 (2014.4.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-020  
 【出願番号】特願 2014-502838 (P2014-502838)  
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 12/28 2 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 3 月 27 日 (2015.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のオーディオ/ビデオ (A V) 装置と第 2 の A V 装置とを接続する制御回路により、前記第 1 の A V 装置を検出するステップと、  
前記第 1 の A V 装置と前記第 2 の A V 装置とを接続するコネクタのチャンネルへ第 1 の供給電圧が供給されているか否かを判定するステップと、  
前記コネクタのチャンネルへ前記第 1 の供給電圧が供給されていると判定されたことに応じて、デフォルトの動作モードである A V シンク動作モードで前記第 1 の A V 装置が動作するように、前記第 1 の A V 装置の通信論理回路を設定するステップと、  
前記コネクタのチャンネルへ前記第 1 の供給電圧が供給されていないと判定されたことに応じて、前記 A V シンク動作モードから A V ソース動作モードに遷移するように前記第 1 の A V 装置の通信論理回路を設定するステップと、を有し、  
前記 A V シンク動作モードの前記第 1 の A V 装置は、前記コネクタを介して前記第 1 の A V 装置に提供される A V データを受け取り、かつ前記コネクタのチャンネルにおいて前記第 1 の供給電圧から電力を受け取り、  
前記 A V ソース動作モードの前記第 1 の A V 装置は、前記コネクタを介して A V データを送信し、かつ前記コネクタのチャンネルに第 2 の供給電圧を供給する、  
ことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記デフォルトの動作モードは、高品位マルチメディアインターフェイス規格に従う通信のためのものである、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 A V ソース動作モードにおいて、前記コネクタのデータチャンネルに第 1 のインピーダンスが与えられ、  
前記 A V シンク動作モードにおいて、前記データチャンネルに前記第 1 のインピーダンスが与えられない、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 1 の A V 装置と前記第 2 の A V 装置との間で A V データ交換を行うステップをさ

らに含む、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 A V データ交換後に、前記第 1 の A V 装置における接続の変化を検出するステップと、

前記検出された前記接続の変化に応じて、前記通信論理回路を前記 A V シンク動作モードにするステップと、

をさらに含むことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

オーディオ/ビデオ ( A V ) 装置であって、

コネクタに結合する通信論理回路を備え、該通信論理回路は、

前記通信論理回路が前記コネクタにおいて該 A V 装置に提供される A V データを受け取り、かつ前記通信論理回路が前記コネクタのチャンネルを介して該 A V 装置に供給される第 1 の供給電圧から電力を受け取る A V シンク動作モードと、

前記通信論理回路が前記コネクタを介して該 A V 装置から A V データを送信し、かつ前記通信論理回路が前記コネクタのチャンネルに第 2 の供給電圧を供給する A V ソース動作モードと、

を実装するように構成された回路を含み、

該 A V 装置はさらに制御論理回路を備え、該制御論理回路は、

前記コネクタのチャンネルへ前記第 1 の供給電圧が供給されていることを検出したことに応じて、該 A V 装置がデフォルトの動作モードである前記 A V シンク動作モードで動作するように前記通信論理回路を設定し、

前記コネクタのチャンネルへ前記第 1 の供給電圧が供給されていないことを検出したことに応じて、該 A V 装置が前記 A V シンク動作モードから前記 A V ソース動作モードに移るように前記通信論理回路を設定する、

ことを特徴とする装置。

【請求項 7】

前記デフォルトの動作モードは、高品位マルチメディアインターフェイス規格に従う通信のためのものである、

ことを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記 A V ソース動作モードにおいて、前記通信論理回路が前記コネクタのデータチャンネルに第 1 のインピーダンスを与え、

前記 A V シンク動作モードにおいて、前記通信論理回路が前記データチャンネルに前記第 1 のインピーダンスを与えない、

ことを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 9】

前記通信論理回路が前記デフォルトの動作モードにある間に、前記コネクタを介した該 A V 装置と別の A V 装置との接続を検出する検出器論理回路をさらに備え、

前記通信論理回路はさらに、前記接続の検出に応じて、前記別の A V 装置との A V データ交換を行う、

ことを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 10】

システムであって、

コネクタと、

前記コネクタに接続された通信論理回路と、

を備え、前記通信論理回路は、

前記通信論理回路が前記コネクタにおいて該システムに提供されるオーディオ/ビデオ ( A V ) データを受け取り、かつ前記通信論理回路が前記コネクタのチャンネルにおいて前記システムに供給される第 1 の供給電圧から電力を受け取る A V シンク動作モードと、

前記通信論理回路が前記コネクタを介して該システムから A V データを送信し、かつ前記通信論理回路が前記コネクタのチャンネルに第 2 の供給電圧を供給する A V ソース動作モードと、

を実装するように構成された回路を含み、

該システムはさらに制御論理回路を備え、該制御論理回路は、

前記コネクタのチャンネルへ前記第 1 の供給電圧が供給されていることを検出したことに応じて、該システムがデフォルトの動作モードである前記 A V シンク動作モードで動作するように前記通信論理回路を設定し、

前記コネクタのチャンネルへ前記第 1 の供給電圧が供給されていないことを検出したことに応じて、該システムが前記 A V シンク動作モードから前記 A V ソース動作モードに遷移するように前記通信論理回路を設定する、

ことを特徴とするシステム。

【請求項 1 1】

前記通信論理回路が前記デフォルトの動作モードにある間に、前記コネクタを介した該システムと A V 装置との接続を検出する検出器論理回路をさらに備え、

前記通信論理回路はさらに、前記接続の検出に応じて、前記 A V 装置との A V データ交換を行う、

ことを特徴とする請求項 1 0 に記載のシステム。

【請求項 1 2】

前記検出器論理回路はさらに、前記 A V データ交換後に、前記接続の変化を検出し、

前記制御論理回路はさらに、前記検出された接続の変化に応じて、前記通信論理回路を前記 A V シンク動作モードにする、

ことを特徴とする請求項 1 1 に記載のシステム。